



東北大学

報道機関 各位



東北メディカル・メガバンク機構
TOHOKU MEDICAL MEGABANK ORGANIZATION

平成 26 年 5 月 29 日
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

平成 26 年度の地域子ども長期健康調査の実施について

～調査対象地域を拡大～

東北大学東北メディカル・メガバンク機構は平成 26 年 6 月 2 日（月）から、「地域子ども長期健康調査」の平成 26 年度調査を開始します。

今年度より対象地域を宮城県内の 8 市 16 町 1 村に拡大したこの調査は、東日本大震災後の子どもたちに病気の増加や症状の悪化の懸念があることに対して、

- 1.子どもたちの健康の実態を把握して、対策をたてること
- 2.心配な点のあるお子さんへの、適切な支援を行うこと
- 3.最先端の医学的支援によって、症状や予後がよくなるお子さんをいち早くみつけること*

を目的として実施します。

※東北メディカル・メガバンク計画では、直接、診療行為そのものは行いません。適切な地域医療機関との連携のもと、その後の対応を行っていきます。その際に、診断上必要あるいは難治性疾患で新たな治療法開発が必要な場合に、東北メディカル・メガバンク計画以外の取組で、保護者の方の同意のもと遺伝子解析を含む詳細な検査を実施して、該当するお子さんに最先端の医学的支援を行う可能性があります。

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構 地域子ども長期健康調査事業詳細】

■対象エリア（下線は今年度が初調査となる地域）

気仙沼市、白石市、名取市、角田市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、七ヶ浜町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、美里町、女川町、南三陸町

■対象者と方法

対象エリア公立小学校・中学校の小学 2 年・4 年・6 年生と中学 2 年生の児童・生徒

の皆さんに学校を通じて「子どもの健康に関するアンケート」を配布します。ご家庭に持ち帰って、保護者の方に記入してもらい 6 月 20 日（金）までに返信いただきます。また、希望される場合は心と体に関する相談などの必要に応じた支援を東北大学東北メディカル・メガバンク機構の地域子ども長期健康調査事務局で実施します。

■これまでの調査について

宮城県の県南部で実施した平成 25 年度調査では、調査対象者 12,742 人のうち、4,074 人（32.0 %）の保護者からアンケートの返送がありました。気管支喘息の症状のある子どもは 378 人、アトピー性皮膚炎の症状がある子どもは 866 人でした。強い症状があるのに治療も診断も受けていない子どもは、気管支ぜんそくで 27 人、アトピー性皮膚炎で 37 人でした。同アンケート内でこころの健康に関する質問として SDQ(Strengths and Difficulties Questionnaire)を実施したところ、毎日の生活に何らかの難しさを感じていて、支援が必要と思われる子どもが 606 人いることがわかりました。保護者からのご希望がある場合に、必要に応じて、心理士や保健師が心と体に関する電話相談（のべ約 1,500 回）、面談（のべ約 100 回）による支援を実施しました。

■地域子ども長期健康調査は、東北メディカル・メガバンク計画の行う三世代コホート調査の一部として実施されます。

【参考】

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>

地域子ども長期健康調査

http://www.megabank.tohoku.ac.jp/tommo/activities/activities02/activities02-health_survey

(お問い合わせ先)

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

予防医学・疫学部門 分子疫学分野

菊谷 昌浩 (きくや まさひろ)

電話番号： 022-717-8104

Eメール： kikuyam@med.tohoku.ac.jp

(報道担当)

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

長神 風二 (ながみ ふうじ)

影山 麻衣子 (かげやま まいこ)

電話番号： 022-717-7908

ファックス： 022-717-7923

Eメール： f-nagami@med.tohoku.ac.jp